

星屑

2011年10月号

No. 439



ギャラッド彗星 (C/2009 P1)
2011.08.28、41cm反射 (FL:2400mm)
22:19:34~ 3分露出 4枚を合成
Canon EOS 20Da 熊本県天文台

熊本県民天文台

8月20日（土） 熊本市勤労者福祉センターで

「驚きの宇宙ばなし」

10:00~12:00 1時間半の講演 と 30分の質疑応答

熊本から見上げた星空と、そこに見えているダイナミックな宇宙を解説
太陽系は縦回り？ 星の誕生とその一生 ブラックホールは本当にあるか etc.



参加者は38名

勤労者福祉センターで初めて開催された「天文セミナー」です。いったいどんな人たちが何人くらい聞きに来て下さるのか、全くの未知数ばかり。そこで、未就学児童や小学生向けの話題から最新の宇宙論を期待する大人向けまで、幅広い話題を用意。ドップラー効果などについての理解を助けるため、小道具も準備して出かけました。

会場が、国道3号線沿いの黒髪地区にあるため、朝の交通混雑に巻き込まれる心配もあって、早めに自宅を出発。そうしたら、車の流れが順調で、セミナー開始時刻の1時間前には会場に到着してしまいました。おそろおそろ事務室を訪れると、「早かったですね！」の声。セミナーの進行方法などについて担当者と打ち合わせを行い、配付する資料も確認して、会場準備に向かいました。プロジェクターとパソコンをつないで、早めに投影環境を確かめておきたかったからです。

なんと、1時間前から

会場に入って驚きました。小学生ぐらいの子どもさん2人とご両親の一家族4人、すでに来場して着席して居られるではないですか！これはすごいです。思わず「どこからですか？ 早くおいでになったのですね！ 今日は何なことを知りたいと思って来場されたのでしょうか？」と、質問してしまいました。

外はあいにくのお天気で、時折ショボショボと雨が降ったりやんだり。「こんな日は、お客さんの出足が悪くて、参加者が少ないのですが・・・」という担当者の説明を聞きながらも、次々と入場してこられるお客さんを見て、私はホッとしたり、緊張したり。パソコンやマイクの準備が終わったあとは、時々来場者に声を掛けて、「今日のセミナーに何を期待しているか」を一生懸命探っていました。

開始時刻の20分前頃、小学生を連れた家族での参加が意外に多いのに気づいたので、持参した星座早見盤を配布。開始時刻になるまで、早見盤の使い方の要点を解説しました。

小学生を含む家族連れと、単身で参加されている大人の人たちとは、聞きたいと思っている内容が大幅にずれている可能性が高いと考えました。そこで、セミナーが始まる前に、小学生の「自由研究」に役立ち、大人の人にとっても星空を見上げる助けになる、そんな解説を済ませておこうと思ったわけです。

解説は、電子紙芝居と実演で

まず最初に、熊本県民天文台と、そこで見える星空や天の川を紹介。次に、8月下旬頃に見える星空を示し、春の星座・夏の星座・秋の星座、黄道12星座と星空の目印などについて説明しました。それから、会場からの質問を誘い、それに答えつつ、「太陽系は縦回り」「星空は影絵の世界」「星の誕生と死」「音と光のドップラー効果（小道具で実演）」「ブラックホール」などの話題について解説。そこで、予定していた1時間半の講演時間になりました。

多元宇宙論についての質問も

次は、いよいよ質疑応答の時間です。年配の男性からは、多元宇宙に関する事など、いくつか難しい内容の質問がありました。その質問には、私は詳しい解説をすることが難しいので、率直にそう話して、「観測的宇宙論」などの書籍を読んでみることをお勧めしました。次の質問は「宇宙は膨張しているといわれているが、膨張しているとはどんなことなのか？ ちょっと考えてみたが理解するのが難しい」というものでした。

そこで、「膨張する宇宙」という電子紙芝居の解説を上演、漫画を多用して簡易アニメ版での解説を展開しました。解説が終わったとき、「何とかイメージがつかめました」と言って下さったので、私はホッとしました。・・・

そんな具合に、いくつかの質問が次々と出ましたが、あっという間に予定の30分を超えそうになり、司会者の「時間が迫りましたので、あと1人だけ・・・」という上手な介入に救われました。あのまま続けていたら、きっと「終わりのない講演会に」なっていたかも知れませんね。

今までにない「客層」でした！

終わったあと、勤労者福祉センターの担当者さんが、興奮気味にそうおっしゃっていました。いつもの「セミナー」では、受講者のほとんどは中・高年の女性だそうです。ところが、今回の参加者は、ほぼ半数が男性で、年齢も全体の45%が50歳代以下。しかも、子ども連れが数組！「新たな利用者層を開拓できました!!」「高度な内容や、言葉だけでは理解しにくいテーマもあったのに、電子紙芝居を使った解説で、とてもよく分かって面白かったです!」「アンケートでは、また、ぜひ聞きたい・・・という声が多いですよ」とも。

これは、とても嬉しかったです。緊張しまくって肩に力が入っていたのがスーッと抜けるのが分かりました。だって、勤労者福祉センターとしては初めての試み。こちらとしても、どんな人たちが、どれくらい参加して下さるのか分からず、準備には苦労しましたのです。「大成功」とまでは行かなくても、まずまずの評価を頂けたようで、ホッとしました。

金環日食ツアーのパンフを配布

この日に間に合うように、太陽ツアーリストさんが「2012年5月 金環日食ツアー」のパンフレットを作成して下さいだったので、それを配布。天文台の案内チラシとお土産写真も配ったのですが、どちらも好評でした。会場で、「金環日食は面白そうですね、家内を説得して、一緒に参加してみようと思います」という方もいらっしゃいました。「県民天文台に行きます」という方も数名!!

8/22(月) 熊本県民天文台 設立時の台長 西岡鐵夫氏が 逝去

享年80歳、台長・副台長、名誉台長2名が葬儀に参列しました



心から自然が好きでした

「『名もない花』という花はない」と、いつも口にしていた夫。熊本市立熊本博物館に勤務し、退官後は大学で博物館学を教えていました。全ての動植物に対して深い関心を寄せ、野生生物研究会や野草の会の活動に熱心に取り組んでいたものです。家庭では、子どもや孫たちのどんな質問にも詳しく答えてくれる優しい人でした。

夫は四年前に手術を受け、今年の七月下旬から再び、入院生活を送っていました。見舞いの際に、夫が温室や庭で育てていた花を持って行くと、喜んでくれました。

夫 西岡鐵夫は平成二十三年八月二十二日、八十年の生涯をとおしました。病床で「来年の皆既日食が楽しみだ」と言っていた夫と、一緒に見られないのが残念でなりません。「ゆっくり休んでください」とねぎらい、静かに見送ります。

生前、夫が皆さまより賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。本日はご会葬いただき、誠にありがとうございます。略儀ながら書状をもちまして厚くお礼申し上げます。

高ご香典返しの際は勝手年らご芳志の一部を熊本県社会福祉協議会事業資金として寄附致し慣例に替えさせて戴きますのでご諒承の程お願い申し上げます。
平成二十三年八月二十三日

熊本市帯山四丁目四番一三号

喪主

西岡 菊子
松 下 康 恵
松 下 純 一郎
西岡 正 恵
長 女
長 女の夫
二 女
ほか親族一同

8月23日(火)の午後、故西岡鐵夫さんのお葬儀に参列してきました。

宮本・永井の両名誉台長、私、小林・中島の両副台長の5名が、同じ列にならんで座りました。会場は、遺族の方が驚かれるほど、大勢の参列者で埋まり、葬祭場の方々が大急ぎで席を増設されていました。葬儀は神式で執り行われました。

2時15分頃、葬儀が終わり、出棺の準備が始まったところで、私は天文台へ向かいました。15時にお客さんが来台される予定が入っていたのです。

.....☆

天文台の建設構想が動き始め、募金集めを始めようとしたとき、一番の問題は、「お金を出すのは良いが、本当にアマチュアだけで運営できるのか?」という、財界人や文化人からの指摘に、しっかりとした回答を出す必要があったことです。その難問に対して、「最初の一年間は、私が台長を務めます」という一言で西岡さんが支援者達を納得させ、不安を解消して、熊本の財界人と文化人とが結集、熊本県民天文台建設期生会が発足したのです。

大きな責任を引き受け、前代未聞のプロジェクトを前に進めた、すごい決断だったのだなあ・
.....★

西岡さんは、胃癌で、最後は痛みがひどかったそうです。しかしその病床でも、「森羅万象を楽しみたい」と考えて居られたようです。そのお話を聞いて、私も、「星空と宇宙を知る楽しさ」を、1人でも多くの人に伝え続けようと、気持ちを新たにしました。

故西岡鐵夫さんのご冥福をお祈りいたします。

熊本県民天文台として、弔電を打ち、献花をしました。

☆☆

8/22(月) 城南町 旭が丘公民館の 星の観察会

雲が広がってしまいましたが、3名が参加、アンタレスなどを観察



夏休み中に、何とかして「夏の星座と天の川」の観察会をやりたいと、急遽日程を設定、案内のチラシを作って旭が丘団地内に配布しました。15日の週はずっとお天気が悪くて星が見えそうになく、22日(月)だけは晴れそうだったからです。

ところが、この日も雲が広がり、微妙なお天気です。そこで、12cm屈折だけを組立、レーザーポインターを用意して待機。

「このお天気では、参加者はいないかも?」なんて、弱気になりながら準備を続けていたら、なんと、開始時刻の10分前にお二人、懐中電灯で足元を照らしながらおいでになりました。「他の人は参加しないのかしら、二人だけ見るのはもったいない」、そんな声に押されて、大きな声で「星の観察会を始めますよーーーー!」と団地内に向かって案内しましたが、愛犬のお散歩帰りに一人が加わっただけでした。残念! でも、さそり座や夏の大三角が見え、アンタレス、ベガ、M22などを望遠鏡で観察、生語りでの星座物語とお土産写真付きで好評でした!

8月25日（木） 八代市のNPO「とら太の会」 モデルロケット打ち上げと「星の観察」

18:45 ～ 21:00 まで 障害を持つ子供達も一緒に、楽しみました



「急なのですが・・・」

「木曜日の夜に、星の観察会をやってもらえないでしょうか？ できれば、少し早い時間帯にロケットの打ち上げをお願いします。以前に一度やってもらったら、子ども達にとっても好評だったのですよ。」

そんな電話が入ってきたのは、火曜日（23日）のお昼、西岡さんの葬儀に参加しようと、熊本市帯山の葬祭場に到着した時でした。

障害児との共生を目指すNPO

主催者は、八代市のNPO「とら太の会」、障害児との共生に取り組むNPOです。「頼まれれば、可能な限りそれに応える」という方針でやっている「団体公開」の申し込みですから、「はい、分かりました、何とかやります」とお答えしました。

森羅万象を楽しみ、科学教育やその普及に熱心だった西岡さんの葬儀の時に、急ぎの申し込みが入ってくるというのも、きっと何かのご縁なのでしょうから。

古墳公園でロケット打ち上げ

参加しているのは、障害児を含む30名以上の子ども達と、その家族や引率のボランティアです。打ち上げるロケットは5基。まず子ども達に5つのグループに分かれてもらいました。それぞれにモデルロケットを渡して、さわってもらい、ロケットが紙でできていることや壊れやすいことを実感してもらいました。納得した様子の子供達に、ロケットはパラシュートを開いて降りてくること、それを回収してきて欲しいこと、ただし、強くつかんだり、引っ張り合ったりしないことをお願いしました。「最初にロケットを捕まえた人に拍手をしましょうね」と提案しました。これで準備完了。みんなで大きな声を出してカウントダウン、次々にロケットを打ち上げ、無事に回収しました。

ところが雲が広がった！

ロケット打ち上げまでは青空が見えていたのに・・・、天文台に移動して、観測室の屋根を開けたら、なんと空全面に雲が広がっていました。観測室や望遠鏡の説明が終わっても、まだ全く星が見えません。仕方がないので、1階のミーティング室に異動してもらい、大型スクリーンに電子紙芝居を投影して、解説を始めました。写真で見るとおり、ミーティングルームは満杯の状態。そこは、電気が消されて、スクリーンだけが明るい、いわば異様な空間です。環境の急変が苦手な子どもの中には泣き出す子もいたりしました。

橋本さんご夫妻の応援！

私が電子紙芝居を使った解説をしている間にも、橋本さんが観測室とミーティングルームとを何度も往復して、空の様子をレポートして下さいました。それで、星が見えるタイミングを選んで、解説を休止、観測室へと移動してもらいました。

右の写真は、2回目に観測室に上がった時の様子です。最初は、40名余りの参加者全員が一気に2階に上がったものですから、観測室が満杯になり、身動きがとれない状態になってしまいました。車いすの人もいたのですよ……。それで、2回目に観測室に上がる時には、一度に全員が上がらないよう、誘導したというわけです。



星が見えると、歓声が！

八代の子ども達、プラネタリウムを見た経験も少ないようで、「星を見るのは初めて!」という子どももたくさんいました。それで、アンタレスを望遠鏡で観察したり、夏の大三角やいて座の星などが時々肉眼で見えたので大喜び、歓声が上がっていました。

「午後からは雨」という天気予報だったことを思えば、時々青空が見える状態で始まり、ロケット打ち上げをたっぷり楽しめたし、星も観察できて、大成功だったといえるでしょう。

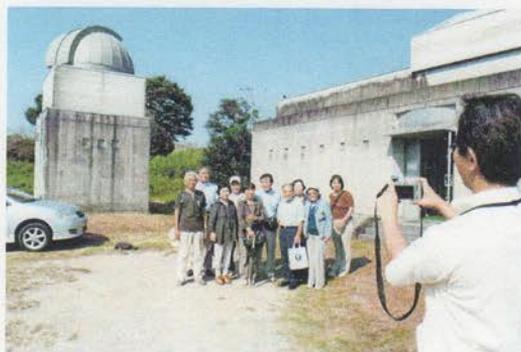
電子紙芝居も、子ども達の質問やリクエストに応じて上演しましたが、「太陽系はたて回り」や「ブラックホール」など、なぜか真面目な解説ばかり。星座物語を1つも上演せずに最後まで続きました。終わった後、主催者の方が、「障害を持つ子が多いのに、こんなに長い時間、良く持ったねえ・・・」と言っておられたのが印象的でした。

数年前にも一度やったことがありましたが、今年も無事に役目を果たせて、ホッとしました。

8月8日（木） 熊本市託麻公民館

自主講座グループの「天文台見学」

14:15 ~ 16:25 まで 予定時間を超えて、楽しまれたようです



昼間の見学希望が入るのは珍しいですね。城南公民館を通して「古墳公園だけでなく、県天文台もぜひ見学したいとおっしゃっています」と連絡が入り、対応しました。

まず2階で、スライディングルーフ式の観測室や望遠鏡について説明。日差しがきついで、ミーティングルームに移動、電子紙芝居で天文台の活動などを解説しました。

表紙の写真



ギャラッド彗星 C/2009 P1

撮影日： 2011年8月28日 撮影時刻： 22:19:34 ~ 22:29:59 3分露出4枚を合成

望遠鏡： 41cm反射 (FL:2400mm) 直焦点 カメラ： Canon EOS 20Da

撮影者： 艶島 敬昭

夏休み最後の日曜日

この夜は、意外なことに、お天気が良いのにお客さんが全く来なくて、手持ちぶさたでした。最後の日曜日だから、相当賑わうだろうとの予想が見事に裏切られてしまいました。昨日まで、「自由研究だ」「星の観察だ」と押し寄せてきた大勢の人たちも、この日ばかりは夏休みの宿題をまとめるのに必死だったのかも知れませんね。あとで知ったのですが、城南町の小学校では、29日（月）から2学期が始まったのだそうで、その影響も大きかったのでしょう。

撮影の指令？

21時を過ぎて、「誰も来ないから、もう閉めようか?」となった時、空は澄んでいるし、このまま帰るのはもったいないと思いました。それで、「久しぶりに天体写真でも撮ろう!」と、撮影準備を始めたわけです。そこへ、別棟のドーム内で彗星観測中のJ氏が2階の観測室にやってきました。なんと、絶妙なタイミング!

「M101に、超新星が現れているよ!」「ギャラッド彗星は、頭の真上、や座にいて、天の川の中だし」……。その言葉は、まるで、「超新星を撮れ!」「ギャラッド彗星を撮影せよ!」という指令であるかのように私の頭の中を駆け巡り、自然とそのように望遠鏡を操作してしまいました。

この画像、NHKの夕方のローカル番組「クマロク」に投稿したら、数日後放映されました。

ちよっと一服

Poem & Illustration

9月に入って、一気に秋らしい気候になりました。日中は暑いものからっとして、日影に入るとそれなりに涼しく、夜は放射冷却で肌寒さを感じるぐらい涼しい…熊本の9月とは思えない気候だったのですが、どうやら長続きはしないようで、また蒸し暑い日々が帰ってきそうです。

さて、蒸し暑さが帰ってくるにせよ、夜空は確実に秋へ。夏の大三角形はまだまだ元気に存在を主張していますが…12日は、中秋の名月ですね。

日没後、暗くなった空にはもうすでにペガサスは昇ってますし、そのあとすぐにアンドロメダ、カシオペアが続いています。やがてペルセウスと一緒に木星も登ってきて、いよいよ神話の秋、です。



秋の神話

ちょっと早めのススキが揺れる
その上で
ペガサスが翼を開いた

空は 高く 遠い

王と王妃が ひそやかな会話を交わす中
姫は ゆっくりと体を伸ばす

腰のあたりで ささやくのは だれ？

英雄の登場を華々しく飾るはずの流星は
狩猟の女神の輝きにかき消されて
ほとんど色あせてしまったが
そんなことなど さらさら気にせずに
英雄は 登場するのだ

ほら
あの 狩猟の女神も
天空の王でさえ 二人の出会いを
祝って 輝いている

さあ 宴を始めよう



By Dio

2011年8月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 11日/12日=91.7%
一般来台者数 389名

総開台日数 17日
会員来台数 43名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
3日 (水)	晴れ	艶島		防犯灯デモ機の送り出し準備。愛知県の方から依頼があり、店頭実演をする。静岡県に送ります。
4日 (木)	晴れ	艶島		デモ機を発送
5日 (金)	曇りのち雨	艶島 杉村 橋本夫妻	60人	出張観測会 甲佐町乙女小学校4年生 電子紙芝居 星座早見の使い方、星の位置のはかり方、記録の仕方、星空はタイムマシン、ブラックホール その他質問多数
6日 (土)	くもり	中島 艶島	0人	誰も来ず。21:10に帰ります。ビクセンの20cmF4反射を整備
7日 (日)	曇り	艶島	4人	月、アンタレス、アークトゥルス どん雲理で誰も来ないかなあ・・・と思っていたら21:00過ぎに1組4人が来台 望遠鏡の大きさ、月のクレーターなどの驚きの声を上げていました。またくるそうです。
9日 (火)	晴れのち曇り	艶島 橋本夫妻	28人	歴史民族資料館から 月、アンタレス、スピカ、土星、デネブ、はくちょう座X1 電子紙芝居の準備もしていたけれど、星が見えたのでずっと観測室でした。
12日 (金)	快晴	艶島小林J 高田、西島	100人	土星、月、アンタレス、M13、ギャラッド彗星、M31 ペルセ群をみようとして来台された方、夏休みの課題でくる子や規制してきたこの家族など大賑わいでした。ボーイスカウトの団体さんが目立たなかったほどの大人数でした。快晴だけど月明かりがすごい！
13日 (土)	晴れのち曇り	中島 艶島 小林M	60人	土星、月、ペルセ群流星1個、ISS 今日もたくさんのお客さんでした。子どもが多いのでとても賑やかでした。月の撮影会になりましたが、とてもとても好評でした。ペルセ群も見えてよかった！！
19日 (金)	曇り	西島	15人	雲がちでほとんど星が見えない状態だったけれど夏休みだけあって来台者あり。かろうじてベガ、ダブルダブル、アルタイル、デネブ、アルビレオ 後からきた2家族はちょうどべたぐもり担ってしまっても何も見えないまま帰られました。

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
20日 (土)	晴れの ち曇り	高田 艶島 中島 高群 艶島 艶島小林J 小林M高田 中尾の西嶋 橋本夫妻 中島 高群	9人 40人	アンタレスなど 雲が流れる中、熱心な子ども連れ・・・ 熊本市勤労者福祉センターで天体セミナー 「驚きの宇宙ばなし」 熊本から見える星空と 宇宙を解説 トークアバウト 星屑発送作業 運営委員会 22:00頃終了 その後雑談
21日 (日)	曇り	艶島	0人	曇りでも来台者があるかも？そう思ったけれど ・・・さすがになしでした。
22日 (月)	曇り	艶島	1人	平林プロパン 保安点検 結果は異常なし
23日 (火)	曇り時々 晴れ	艶島	0人	名誉台長の西岡さんが亡くなられて今日が葬儀 でした。
25日 (木)	曇り	艶島 橋本夫妻	40人ほ ど	とら太の会 モデルロケット打ち上げ 5機 星の観察と電子紙芝居での解説、アンタレス 蠍座・ベガ・アルタイル・いて座 (肉眼で)
26日 (金)	曇りの ち晴れ	艶島 西嶋	9人	ベガ・アークトゥルス・デネブ・M22・M31・ 海王星・天王星・木星・フォーマルハウト はじめは雲の隙間にちらりと一つ二つ見える 程度だったのが、だんだん雲が薄れ、22時ご ろにはかなり晴れました。今シーズン初の惑星 3つみられ、最後まで粘った1家族は大喜びで した。 木星、しまが戻っています！
27日 (土)	曇りの ち晴れ	中島 艶島	18人	天王星、フォーマルハウト、アークトゥルス・ デネブ・M22・X1・アルビレオ・M27 雲が次第に切れて晴れ間が広がり皆さん大喜び でした。
28日 (日)	くもり ・晴れ	艶島 小林M 中島小林J	2人	アークトゥルス・アンタレス・M4・M22 観測
31日 (水)	晴れ時々 曇り	中島 小林J	3人	木星、M31、アルビレオ・アークトゥルス・ア ンタレス・M22・ベガ・デネブ 中島の自宅近くの人から頼まれて開台。夏休 みの宿題！！ 彗星観測

9月も暑い毎日が続きますが、夜から朝方にかけてめっきり涼しくなってきました。というか涼しすぎ！ 体調管理が追いつきません。日中の気温がもう少し低ければ、私としては快適なのですが…。さて、最近の夜はようやく晴れ間も出て、星空が楽しめるようになってきましたね。とは言っても秋の空は寂しい…。まずは中秋の名月を楽しみましょうね。そして月を肴に一杯と…、コレがダメなのか…。orz

☆ 10月の天文現象 & 行事 ☆

- 1日(土) 夜明け前の東天で、火星とプレセペ星団が最接近
さそり座 δ 星(2.9等)の食(福岡:暗縁から潜入 18:30→19:40)
- 4日(火) 上弦(12:15)
- 8日(土) トークアバウト(天文台にて 20:00～ 変更の場合もあります)
- 9日(日) 十三夜(後の月)
寒露(かんろ…秋涼増長し、寒くなり露を結ぶ)
りゅう座流星群が極大(旧ジャコビニ流星群)
- 12日(水) 満月(11:06)
- 15日(土) 土星が合(07:22 0.7等、視直径15.5")
- 20日(木) 下弦(12:30)
- 21日(金) 今夜から明日にかけてオリオン座流星群が見られる
- 22日(土) オリオン座流星群が極大の頃
城南公民館講座(熊本県民天文台にて)
- 24日(月) 霜降(そうこう…露は霜と化して草木の葉は黄変するという意味で霜降)
- 27日(木) 新月(04:56)
- 29日(土) 木星が衝(21:43 -2.9等、視直径49.6")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2011年10月号 通巻439号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで